黒埼町の今昔

執筆　宮田栄門

黒埼にかかる橋(八)

帝石橋は企業の事業開始時に交通事情緩和のため県と市の依頼で架けられた。

帝石橋架橋（昭和二十六年ごろと思われる）

黒埼町下山田から信濃川の対岸、鳥屋野地区網川原への帝石橋は、昭和二十六年ころに架橋されたもので、それまでは渡し船が唯一の交通手段だった。

帝石橋が架橋された理由

（新潟市政進展史四巻より）

昭和橋上流の鳥屋野地区網川原に新設される東洋瓦斯化学工業株式会社の事業開始を期し、県と市では東西新潟の交通事情緩和のため、同工場付近の信濃川に永久橋を架けてもらうよう、帝石側と話し合っていたが、十二月十八日帝石本社から岸本社長が来港し、県庁で北村知事、村田市長と懇談した結果、工費八千万円で半永久橋（橋脚鉄筋コンクリートの橋）を架ける協定が成立して仮調印が行われた。これは帝石と東洋高圧の合資による東洋瓦斯化学工業の新潟工場が、関屋、内野方面で生産される天然ガスをパイプで対岸の鳥屋野に送る関係から、当初工費四千万円程度で木橋を作る計画を進めていたが、県と市がどうせ作るなら永久橋にと頼んでいたものである。

協定書によると、(1)橋の規模は長さ二百七十メートル、幅六メートルのコンクリート半永久橋とし、同社が事業を開始する明年九月までに完成する。(2)架橋費は約八千万円として帝石が負担し、完成後無償で市に寄付する。(3)市は設計入札工事監督一切を行う。(4)市は区画整理によって市有となる土地を帝石に売却し、帝石はその代金を三年後に無利子で支払う。(5)橋に通じる取付道路（約一千万円）は県と市で負担し、明年十一月中に完成する。このため県土木部では早速設計にとりかかり、一月下旬入札、工事を始めるが、現在万代橋と昭和橋だけに頼っている東西新潟の交通事情は、この半永久橋によって緩和され、将来バスの環状線も考えられていた。

帝石橋（右）と信濃川水管橋

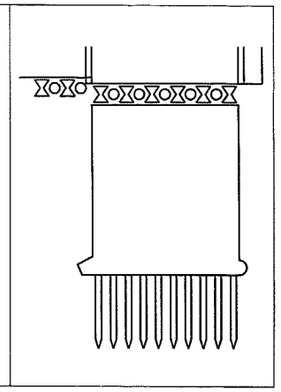
新潟地震に耐えた帝石橋

昭和三十九年六月十六日に発生した新潟大地震で昭和橋は落橋したが、この帝石橋はびくともしなかった。そのため帝石橋は地震後唯一の橋として、救援物資や復旧資材等を満載したトラックや、被災地へ向かう人たちでごったがえしだった。

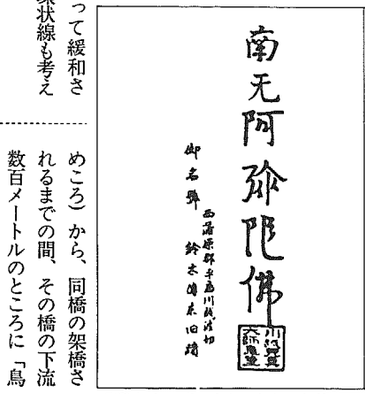
「あの大きな昭和橋が落ちたのに、落ちなかった帝石橋」と、当時橋の堅牢さと構造が話題になった。

鳥屋野の渡し

帝石橋架橋以前（大正の初めころ）から、同橋の架橋されるまでの間、その橋の下流数百メートルのところに「鳥屋野の渡し」があった。渡しの船頭さんは、鳥屋野の三太郎ろんと仲吉ろんだったといわれており、鳥屋野側に渡しの待ち小屋があったが、寺地側になく「オーイ、オーイ」と呼ぶと、小屋から出て船を漕いで迎えに来られた。普通のときは大野の川口の渡し船より小さい船で、一日に十五人から二十人くらいの人が利用したというが、鳥屋野の寺お講の日になると大きな船を借りてきて、一艘二人づつ、二艘の船で客を渡したという。



新潟地震でも落ちなかった橋の構造



親鸞上人の書いたといわれるお礼

そして、何時のころからか、三太郎ろんが年をとられ、橋が架かるころには仲吉ろんが一人で渡しをしていられたという。

親鸞上人の御旧跡

波切御名号

（なみきりのごみょうごう）

その昔、今から八百年ほど前の承元元年。親鸞上人が越後に流罪となり鳥屋野で三年の春秋（しゅん）をおくられたときのこと。川を渡られた上人が近郷近在を御布教になっての帰り道、寺地の渡し守り新十郎（現鈴木キミ子さん宅）が船で鳥屋野へお送りしようと漕ぎだしたところ、急に北風が激しき吹き、川は大海原のように荒れたち、恐ろしさに新十郎途方に暮れたとき、上人自らの懐中より紙を取り出され「南無阿弥陀仏」とお書きになり、その紙を新十郎が船の表にひるがえして漕ぎだしたところ、不思議にも船の進むところだけ烈風が収まり、波を切り分けて船は鳥屋野の地に着くことができたという。

そのときの上人の御親筆が今も寺地鈴木宅に伝わり、（波切御名号）といわれ親鸞上人の旧跡となっている。

取材協力　大橋憲司、手島貞吉、内藤春男、長谷川四郎、鈴木キミ子（敬称略）

参議院議員通常選挙

7月26日(日)に行われた参議院通常選挙の結果は別表のとおりです。投票率は43・04%で、前回（平成元年7月・55%）前々回（昭和61年7月衆参同時選挙・71%）を下回りました。なお、比例代表については、下のような結果でした。

参議院新潟県選出議員選挙

候補者別得票数		
むらた一男	（日本共産党）	853
まじまし一男	（自由民社党）	3421
おおふち絹子	（日本社会党）	2530
北村ひさたか	（中小企業生活党）	401
無効票		291

参議院新潟県選出議員選挙　投票結果（黒埼町選管）

投票所	当日の有権者数	投票者数	投票率
1 改善センター	2,427	1,023	42.15%
2 典野保育所	2,186	996	45.56
3 大野小学校	2,536	1,082	42.67
4 善久保育所	1,257	519	41.29
5 立仏保育所	1,883	801	42.54
6 山田小学校	1,649	727	44.09
7 寺地保育所	1,789	833	46.56
8 板井保育所	824	372	45.15
9 木場小学校	1,834	737	40.19
10 鳥屋公民館	1,035	407	39.32
計	17,420	7,497	43.04

比例代表・届出政党別得票数

自由民主党	2490
日本社会党	1651
公明党	729
日本共産党	640
日本新党	395
民社党	283
スポーツ平和党	277
第二院クラブ	186
老人福祉灯	
社会民主連合	
風の会	
年金党	
モーター新党	
中小企業生活党	
新自由党	
国民新党	
発明政治	
希望	15
教育党	12
全日本ドライバーズ倶楽部	
国民党	各10
環境党／平和党	各8
日本国民政治連合／「開星論」	
のUFO党／日本世直し党／平	各7
成改新党	
日本愛酵党／フリーワークユニ	各5
オン	各3
地球維新党／表現の自由党	各2
進歩自由連合／雑民党	
国際政治連合／大日本誠流社／	各1
文化フォーラム	各0
世界浄霊会／政事公団大平会	
計	7129

投票率は43%

緒立区画整理記念碑除幕式

八月四日(火)緒立土地区画整理事業の記念碑の除幕式が行われました。緒立土地区画整理事業は面積約八・一haで、事業期間は昭和六十三年度から平成四年度となっており、工事もほぼ完成しております。

記念碑は公園の中に設置され公園の面積は、二千四百九十㎡、公園のほぼ中央にあずま屋があり緒立八幡宮と常民文化史料館に隣接し、歴史や文化の散策が楽しめます。

町の動き

町政のさまざまな動きをお知らせします。

木場農村集落多目的共同利用施設が完成

8月1日(土)、木場農村集落多目的共同利用施設の竣工記念式典が行われ、完成を祝いました。この利用施設は農村総合整備モデル事業でつくられたもので、面積約260㎡、集会室、調理実習室など備えています。

入札結果

総務課

工事名	工事業者	請負額	完成期限	入札日
町道鳥原14号線道路改良舗装工事	㈱樋口組	千円 2,945.8	平成4年10月7日	7月10日
町道大明団地10号線道路改良舗装工事	㈱山際総合建設	2,358.7	平成4年10月7日	7月10日
町道木場村中線道路改良舗装工事	㈱新潟廣瀬組	15,347	平成4年11月26日	7月10日
大野町駐車場工事	㈱樋口組	9,888	平成4年10月27日	7月10日
町道鳥原前川原1号線舗装補修工事	三建舗装㈱	1,390.5	平成4年8月23日	7月10日
町道坂井味方線舗装補修工事	曽山工業㈱	1,339	平成4年8月23日	7月10日
大野児童遊園フェンス補修工事	㈱樋口組	1,915.8	平成4年9月12日	7月10日
黒埼町立木場小学校排水施設設置工事	㈱新潟廣瀬組	2,111.5	平成4年8月21日	7月10日
町立山田小学校構内舗装工事	㈱志賀組	1,802.5	平成4年8月10日	7月10日
町道黒鳥中道線測量設計委託	㈱新潟測量設計社	2,266	平成4年9月17日	7月10日
町道済生会病院線地質調査委託	㈱新研基礎コンサルタント	1,493.5	平成4年8月23日	7月10日
町道済生会病院線道路設計測量委託	㈱北日本測量設計事務所	7,313	平成4年11月16日	7月10日
町道川前坂井村中線測量設計委託	㈱北日本測量設計事務所	5,665	平成4年10日7日	7月10日
町道興野裏1号線暗排水路測量設計丈量委託	(有)小柳測量開発	1,236	平成4年9月2日	7月10日

短信

7月15日～8月15日

▼7月17日　北陸直轄河川治水期成同盟会総会（新潟市、町長出席）▶18日　社会を明るくする運動総会（講堂、町長出席）▶23日　西蒲農業共済組合部長・推進委員合同会議（改善センター、町長出席）▶24日　新潟県国民健康保険団体連合会総会（新潟市、町長出席）▶31日　交通安全指導所（黒埼料金所、町長出席）▼8月4日　緒立公園記念碑除幕式（町長出席）▶5日　新潟地域近隣市町村長懇談会（新潟市、町長出席）新潟地域アグロポリス構想推進西蒲部会（講堂、農政課長）▶6日　弥彦村役場庁舎、農村環境改善センター竣工式（弥彦村、町長出席）▶15日　成人式（改善センター、町長出席）▶15～16日　黒埼まつり（大野商店街、多目的広場）